



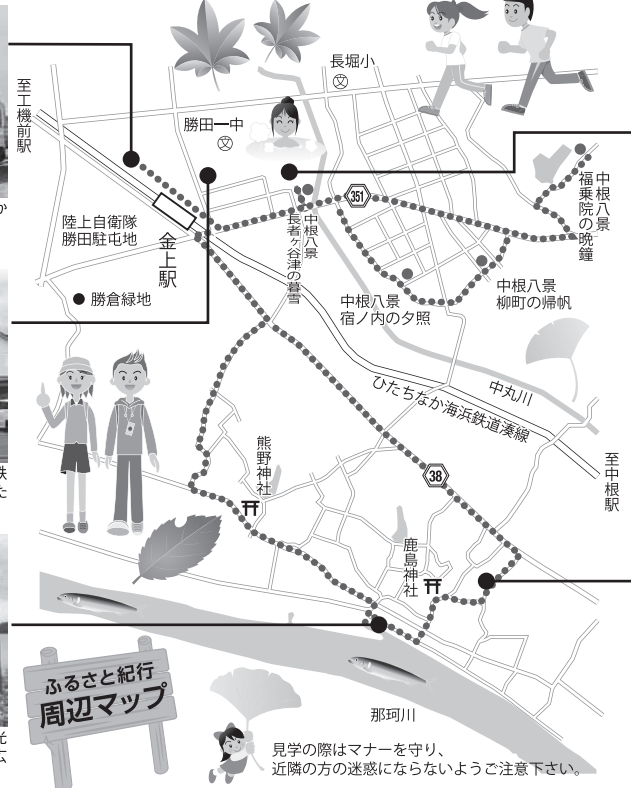
●ひたちなか海浜鉄道と桜
県道沿いは桜の名所。開花の時期、沿線から湊線といっしょに見る光景は絵になる。(画像提供:ひたちなか海浜鉄道)



●グレートリーフ
地域で人気のケーキ店。ひたちなか海浜鉄道開業5周年を記念して発売が開始された「芋レーズ」を販売している。



●百色山見本林
那珂川沿いにある百色山見本林は、徳川光圀公によって樹木が植えられた。緑地休養広場と植樹帯区域がある。



見学の際はマナーを守り、近隣の方の迷惑にならないようご注意ください。



●長者ヶ谷温泉
嘉永5年(1852年)開湯の歴史ある温泉。神経痛やリウマチ、皮膚病などに効果がある。土曜日9:00~16:00の営業。



●中根八景
金上駅東側には「長者ヶ谷津の暮雪」や「宿ノ内の夕照」など、「中根八景」が点在し、石碑が建てられている。

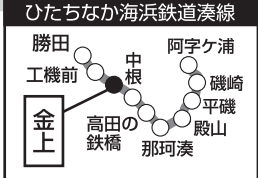


●飯塚前古墳
ひたちなか市唯一の長方墳で長辺約30m、短辺約20m、墳丘高約4m。築造は6世紀後半から7世紀初頭と考えられている。(画像提供:ひたちなか海浜鉄道)

Vol.92
駅からのふるさと紀行 ひたちなか海浜鉄道湊線
かねあげ
金上駅
こうきまえ なかね
工機前 中根
●次回は12月22日 ※イラストはイメージです。
「下管谷駅」を掲載予定です。



縁起のいい地名の「勝田」と「金上」。この2駅を結ぶ「縁起のいい切符(硬券)」は勝田駅、那珂湊駅で販売されている。(画像提供:ひたちなか海浜鉄道)



●駅標は勝田駐屯地と桜がモチーフ



●1面2線の地上駅

縁起のいい名称で金運アップ? 桜の時期は湊線の撮影スポット。
ひたちなか海浜鉄道湊線の勝田-那珂湊間が開通したのは大正2年。金上駅は昭和3年7月17日、湊線が阿字ヶ浦駅まで延伸され、現在の14.3キロメートルの路線が完成した日に誕生した。
西側には陸上自衛隊勝田駐屯地がある。桜の名所として知られ、満開の時期には桜並木と並走する湊線の車両を写真に収めようとする「撮り鉄」が集う。
当初は1面2線の駅だったが下り線の線路が撤去され、1面1線が長く続いた。平成22年、増発に対応する列車交換設備設置工事が行われ、1面2線の島式ホームに戻った。
「金上」の駅名は「金運を上げる」と読み取ることができる。「勝田」も「勝」の字が入っており、勝田-金上間は縁起のいい区間として人気。勝田駅、那珂湊駅では「縁起のいいきっぷ」が販売されている。

働く人と、世界を走る。
ISUZU
茨城いすゞ自動車株式会社
本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
<https://www.ibaraki-isuzu.co.jp>



グレートリーフの芋レーズ

● 散策コース ●
ホームを出て工機前駅方面に少し歩くと桜と湊線の撮影スポット。まずは那珂川に向かって南下する。途中には地名の由来といわれている金上城跡があり、現在は熊野神社が鎮座する。
那珂川沿いには百色山見本林がある。寛文年間(1660年代)に、徳川光圀公が約100種類の樹木を植え、百色山と称した。今もエノキ、モチノキなどが残り、いずれも樹齢は約300年と推定され、植樹された年代とほぼ一致する。光圀公が愛でた幼木が、大木となって現代に残る姿を目にすることにロマンを感じるころだろう。百色山のある

●お問い合わせ / ひたちなか市観光振興課 ☎029(273)0111 ●企画・制作 / 読売茨城広告社 ☎029(244)5555

地区は古墳が多く、三反田古墳群が形成されている。飯塚前古墳は県内でも珍しい長方墳で、内部構造は横穴式石室と推定されている。歴史を堪能したら、駅の東側を目指す。この地域は「中根八景」の「長者ヶ谷津の暮雪」、「福乗院の晩鐘」、「宿ノ内の夕照」、「柳町の帰帆」が点在する。それぞれに石碑が建てられているので、それらを巡るオリエンテーリングも楽しい。また、「長者ヶ谷津の暮雪」の近くには、古い歴史を持つ長者ヶ谷温泉がある。最後は駅近くのケーキ店・グレートリーフで、湊線のシンボリックスイーツ「芋レーズ」を楽しんでほしい。